

氏名	中村裕美	部署	保健医療福祉学部作業療法学科・大学院保健医療福祉学研究科 兼任	職名	教授
研究分野	作業療法理論, 高齢期作業療法学, 地域作業療法学				
学位	博士				
学歴	最終学歴 公立大学法人首都大学東京 大学院 博士後期課程 人間健康科学研究科 人間健康科学専攻 作業療法科学域 修了				
経歴	2017年4月より現職				
所属学会 (役職)	British Journal of Occupational Therapy (Editorial Board member) Royal College of Occupational Therapists (英国OT協会年次学術集会演題採択委員) World Federation of Occupational Therapists (学術集会演題採択委員) University of Illinois at Chicago, The Model of Human Occupation, Clearinghouse(リサーチフェロー) Queen Margret University (リサーチフェロー) 日本作業療法士協会 (学術誌査読委員, 年次学術集会演題採択委員) 日本作業行動学会(評議委員) 臨床作業療法学会 (学術誌査読委員) 日本公衆衛生学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	キールホフナーの人間作業モデル 理論と応用 改訂第5版	共著	あり	共同医書出版社	中村裕美 (第16章 自己報告：クライアントの視点を明らかにすること) 単訳 本章についてはアメリカで刊行された原版の分担著者でもある	2019.September
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Japanese translation and cross-cultural validation of the Adult Social Care Outcomes Toolkit (ASCOT) in Japanese social service users	共著	あり	Health and Quality of Life Outcomes 17(59) doi10.1186/s12955-019-1128-7 IF付国際学術誌	Nakamura-T H, Morikawa M, Moriyama Y, Shiroiwa T, Kyougoku M, Razik K, Malley J	2019.April
2	Development of Japanese utility weights for the Adult Social Care Outcomes Toolkit (ASCOT) SCT4	共著	あり	Quality of Life Research 29(1) 253-263 IF付国際学術誌	Shiroiwa T, Moriyama Y, Nakamura-T H, Morikawa M, Fukuda T, Batchelder L, Saloniki EC, Malley J	2020. January
3	足圧中心解析による脳卒中片麻痺患者が片手でズボンを上げる工程の立位姿勢安定性：自立群と監視群の比較	共著	あり	作業療法 38(6) 654-622 査読有	鳥居誠志, 石岡俊之, 小池祐士, 濱口豊太, 中村 裕美	2019.December
4	Effectiveness of using assertive technology for time orientation and memory in older adults with or without dementia	共著	あり	Disability and Rehabilitation: Assistive Technology. DOI:10.1080/17483107.2019.1650299	Nishiura Y, Nihei M, Nakamura-T H, Inoue T	2019.August

(3) 学会発表					
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	Feasibility study of collaborative support for older workers between Occupational Therapists and Public Health Nurses	共同	6th International Institute on the Model of Human Occupation UIC, Chicago, IL, USA 査読有	Nakamura-T H , Yoshino J, Shimazu T, Kyougoku M	2019.September
2	Occupation based practice for adults with musculoskeletal issues to resume their previous roles	共同	6th International Institute on the Model of Human Occupation UIC, Chicago, IL, USA 査読有	Nakamura-T H , Narita D, Nakaki U, Sekine N, Usuki K	2019.September
3	地域在住高齢者がいづく物理的家屋環境に関するリスク認識と解消法	共同	第53回日本作業療法学会 福岡 査読有	中村裕美 , 京極真, Bonsaksen T	2019.September
4	包括的環境要因調査票を用いて軽度認知障害のリスクが判断できるか	共同	第53回日本作業療法学会 福岡 査読有	籾脇健司, 田中康平, 坂井仁哉, 中村裕美	2019.September
5	Developing a healthy lifestyle program for disadvantaged elderly living in poverty	共同	2nd European Lifestyle Medicine Congress Rome, Italy 査読有	Vanderlinden J, Musch L, Lambers S. De Koker R, Staub C, Nakamura-T H	2019. November
(4) その他					
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称		研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		要支援の地域在住高齢者のための住生活の安全管理を支援する在宅健康プログラムの構築 (研究代表者)	研究代表者	2015.April-2020.March
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）		ケアのアウトカム評価ツールの地域包括ケアシステムへの活用可能性に関する研究 (研究分担者)	研究分担者	2016.April-2020.March
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究B）		ケアラーのQOLに焦点をあてた多面的なケアの質評価に基づく包括的ケアモデルの構築 (研究分担者)	研究分担者	2016.April-2020.March
4	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）		軽度認知障害から正常状態への回復を促進する包括的な役割・環境支援プログラムの開発 (研究分担者)	研究分担者	2018.April-2021.March

3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	グローバルヘルス香港理工大学短期留学	○	8	保健医療福祉科目・前期・集中：科目責任者として、香港理工大学担当者との連絡・交渉により確認したプロセスに基づき、履修希望者の事前準備（県助成制度へのエントリーを含む）を促し、渡航終了後は、香港理工大学担当者からの情報提供に基づき成績を管理し、学内報告会開催準備とオープンキャンパス用ポスター作製を支援した。
2	国外大学からの短期留学生を対象とした講義 Rehabilitation for community-living older Japanese people		2	国外大学からの短期留学生(香港理工看護学生6名) に対し、これまで授業で用い、また科研費で得てきた知見を英語で提供した。
3	国外大学からの短期留学生を対象とした講義 Understanding Japanese culture, society, attitude		2	国外大学からの短期留学生(香港理工看護学生6名) に対し、日本の社会規範や文化的特徴への理解を深め 文化的有能性を向上させるための講義を英語で提供した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨床作業療法演習	○	15	作業療法学専門科目・後期・水曜日3時限：科目責任者として、当該マニュアル整備、客観的臨床技能評価OSCEの患者役となる臨床家の選定と招聘準備、OSCEのための患者役トレーニング、OSCE運営のための科目分担者との連携、演習実施、成績管理を通じて、学生にとって最初の臨地実習への準備を促した。
2	IPW演習		8	共通科目・後期・集中：科目分担者：教員ファシリテーターとして、担当する医療機関の施設ファシリテーターとの連絡、学生への情報提供、演習中の討議促進、最終日の施設内発表会運営、最終日の地域別発表会の運営、学生成績の管理を行った。
3	国外大学からの短期留学生を対象とした演習 Workshop with SPU post-graduate Nursing students		2	国外大学からの短期留学生のうち香港理工大学看護学部大学院生2名と、SPU看護学専修大学院生2名とで、英語による討議を促進した。SPU大学院生にとっては、就学内容や職務を英語で表現する機会となった。
4	国外大学からの短期留学生を用いた大学院生の演習 Workshop with SPU postgraduate students		2	来日したチューリッヒの看護教員を登用して、大学院リハビリテーション専修に在籍する大学院生が 英語で自身の研究内容を発表する機会を設けた。SPU街大学院生にとっては、国際学術集会の予行演習の機会となった。

(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	臨地実習Ⅰ-3（地域領域）	○	15	作業療法学専門科目・後期・集中：科目責任者として、臨地実習施設獲得、臨地実習指導者会議開催、臨地実習指導者会議不参加の指導者との連絡、複数回の事前オリエンテーション、学生の臨地実習指導者会議への準備促進、当該マニュアル整備、臨地実習中の臨床指導者との連絡、成績管理、報告書作成を行った。
2	高齢期作業療法学実習	○	15	作業療法学専門科目・後期・金曜日1-2時限：科目責任者として、ゲストスピーカー調整、学内実習環境整備、成績管理を行った。ゲストスピーカーについては、循環器リハと認知症リハに特化して臨床実践家を招聘した。
3	臨地実習Ⅱ		5	科目分担者として身体機能領域および精神機能領域の実習施設に配属されている学生の実習中の中間訪問を行い、学生、臨地実習指導者のそれぞれと面談した。
4	国外大学からの短期留学生を対象とした病院体験実習 Fieldwork activities in Dokkyo Medical University affiliated Hospital and Soka municipal hospital		17	国外大学からの短期留学生(香港理工看護学生6名 チューリッヒ看護教員1名)を引率し、医療機関での体験実習実習を行った。事前オリエンテーション、病院実習中の病院の実習担当者との連絡調整、実習中の通訳、留学生レポートを翻訳・集約し病院の実習担当者に向けた報告書を作成した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	大学院博士前期課程	2019.April-2020.March	主指導	1名 副指導 2名
(5) その他				
	名称	期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）	
1	大学院博士後期課程特別研究審査役割	2019.April-2020.March	副査として審査にあたった	
2	大学院博士前期課程特別研究審査役割	2019.April-2020.March	主査1編 副査1編の審査にあたった	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	越谷市介護給付費等の支給に関する審議委員会	委員	2013.April-現在	
2	豊島区区民ひろば課WHO認証プロジェクト セーフコミュニティ	委員	2013.April-現在	
3	British Journal of Occupational Therapy	Editorial Board member	2016.September-現在	
4	Royal College of Occupational Therapists	英国OT協会年次学術集会演題採択委員	2015.September-現在	
5	World Federation of Occupational Therapists	学術集会演題採択委員	2013.September-現在	
6	日本作業療法士協会	学術誌査読委員、年次学術集会演題採択委員	2014.April-現在	
7	日本作業行動学会	評議委員	2012.April-現在	
8	臨床作業療法学会	学術誌査読委員	2017.April-現在	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			

(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	奨励研究部会 部員		2019年度
2	全学的委員会及びセンター業務等	国際交流委員会 委員		2019年度
6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
	該当なし			